

記者発表資料
 平成18年9月21日
 市民活力推進局
 文化振興課長 堀江武史
 電話045-671-3703

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位



第55回（平成18年度）
 横浜文化賞、横浜文化賞文化・芸術奨励賞
 受賞者決定!!

～ フィギュアスケーターの村主章枝さんが、文化賞最年少受賞！ ～
 ～ 文化・芸術奨励賞には、瀬川晶司さんが、将棋界初の受賞！ ～

横浜市では、昭和27年度から、芸術、教育、学術、社会福祉、医療、産業、スポーツ振興などの文化の振興に尽力され、その功績が顕著な方々に「横浜文化賞」を、また平成3年度（第40回）からは、現在活躍中の若手又は中堅層で、さらに今後の活躍が期待される方々に「横浜文化賞文化・芸術奨励賞」（旧奨励賞）を贈呈してきました。

横浜文化賞選考委員会（委員長 牧内 良平テレビ神奈川代表取締役社長）において厳正な審議の結果、第55回目となる今年度の横浜文化賞の受賞者は、横浜演劇研究所所長の飯田克衛さんほか5人の方々に、また、文化・芸術奨励賞は、プロ将棋棋士の瀬川晶司さんと映画監督の中村高寛さんに贈呈することになりました。

贈呈式は、平成18年11月9日（木）に、横浜美術館で開催する予定です。

1 受賞者

■ 横浜文化賞（各部門別五十音順）

（年齢は、9月21日現在）

部門	分野	氏名	性別	年齢	職業等
文化・芸術部門	芸術	飯田 克衛	男	80歳	社団法人横浜演劇研究所所長
文化・芸術部門	芸術	齋藤 龍	女	71歳	音楽史研究家 横浜市芸術文化振興財団顧問
文化・芸術部門	学術	高橋 志保彦	男	70歳	建築家 神奈川大学名誉教授
社会・スポーツ部門	スポーツ	村主 章枝	女	25歳	フィギュアスケート選手
社会・スポーツ部門	社会福祉	白浦 美智江	女	68歳	社会福祉法人訪問の家理事長

■ 横浜文化賞文化・芸術奨励賞（五十音順）

分野	氏名	性別	年齢	職業等
文化	瀬川 晶司	男	36歳	プロ将棋棋士
芸術	中村 高寛	男	31歳	映画監督

2 贈呈式

平成18年11月9日（木） 16時30分～

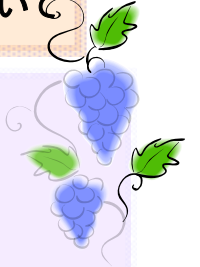
横浜美術館 グランドギャラリー

* 詳細については後日お知らせします。

3 これまでの受賞者数

今回の受賞により、受賞者の人数は、横浜文化賞（本賞）255人、20団体、文化・芸術奨励賞（前身の“奨励賞”を含む）21人、10団体、となります。

第55回（平成18年度）横浜文化賞、横浜文化賞 文化・芸術奨励賞受賞者について



横浜文化賞

【文化・芸術部門】

1 芸術 飯田 克衛 80歳 東京都在住 【横浜の演劇文化を半世紀にわたり振興】

社団法人横浜演劇研究所所長。市内アマチュア劇団のとりまとめ的存在として、横浜の演劇界を支えてこられました。また、日本アマチュア演劇連盟事務局長、神奈川県国際アマチュア演劇フェスティバル事務局長等を歴任し、アマチュア演劇活動の発展に大きく貢献してこられました。

2 芸術 齋藤 龍 71歳 横浜市在住 【実践派の音楽史研究者、横浜文化の発信に尽力】

音楽史研究者。横浜市芸術文化振興財団顧問。開港以来の横浜の音楽文化史の研究を、演奏、講演、著述などの実践に活かし、横浜の人々に音楽芸術に親しむ機会を数多く提供してこられました。また、「フランス月間」の開催に尽力するなど、横浜のシティセールスに貢献してこられました。

3 学術 高橋 志保彦 70歳 藤沢市在住 【都市デザインの第一人者、横浜を代表する景観をデザイン】

建築家。神奈川大学名誉教授。都市デザイナーの草分け的存在として、横浜の景観名所である馬車道ガーデンストリート、吉田橋復元、開港広場と山下公園通り、川辺公園及び帷子川プロムナード等をデザインし、横浜市の環境・景観の向上に貢献されました。

【社会・スポーツ部門】

4 スポーツ 村主 章枝 25歳 横浜市在住 【氷上のアクトレス、長年日本の第一人者として活躍】

フィギュアスケート選手。世界屈指と言われる豊かな表現力から、繊細で華麗な演技により観る人を魅了し続けています。横浜ゆかりの選手として、逆境をはねかえしてトリノオリンピックへの出場を決め、前回オリンピックより順位を上げるなど、市民に明るい話題を提供してこられました。

5 社会福祉 白浦 美智江 68歳 横浜市在住 【日本初の試みから20年、障害者福祉に多大な貢献】

社会福祉法人訪問の家理事長。日本で初めての重症心身障害児・者の通所施設「朧」を1986年に開所して以来、その活動の実践は国の施策にも影響を与え、重症心身障害児・者の生活の質の向上に寄与すると同時に、ノーマライゼーションを地域に浸透することに大きく貢献されました。

横浜文化賞 文化・芸術奨励賞

1 文化 瀬川 晶司 36歳 横浜市在住 【再チャレンジで、プロの棋士への夢を実現】

プロ将棋棋士。年齢制限により、一度は諦めた将棋の世界に再チャレンジすべく行動し、戦後初のプロ棋士編入試験を実現・合格され、人々に希望をあたえ将棋文化への関心を高めました。棋士としての活躍はもとより、将棋の普及などについても今後の活躍が期待されています。

2 芸術 中村 高寛 31歳 横浜市在住 【映画「ヨコハマメリー」で横浜の隠れた姿を表現】

映画監督。初監督作品である「ヨコハマメリー」では、教科書に載っていない横浜の戦後史を浮き彫りにすることで、横浜の歴史、文化などの奥深い魅力を鮮やかに描きました。今後も、横浜出身の映画監督として、新鮮味ある映像作品が期待されています。